
平成30年度事業計画

【基本方針】

■平成29年度に取り組んだ5つの事業について、これらの事業成果を踏まえて引き続き取り組む。

- ①旅行会社や大型団体への営業活動に加え、テレビ、雑誌などマスメディアへの営業活動を展開し、個人旅行者（消費者）への訴求を強化する「県外誘客プロモーション事業」
- ②今後の伸びが期待できる教育旅行、MICE、女性旅マーケットなどの分野における顧客ニーズの把握に努め、満足度の高い商品提案を行い、誘客に取り組む「新市場開拓推進事業」
- ③食を活用した観光の促進、地域資源を活かした着地型観光の推進などにより、魅力的な受地づくりを一層推進する「受地整備推進事業」
- ④観光産業や観光振興を担う人材の育成に取り組む「人材育成事業」
- ⑤会員などの意向を運営に反映させ、相互に協力して観光振興に取り組むために行う「情報収集・提供事業」

【取組の視点】

■本県の観光を取り巻く以下の動きと連動し、効果的に事業に取り組む。

- ①不味公200年祭（H30）
- ②大山開山1,300年（H30）
- ③明治維新150周年（H30）
- ④JTB「日本の旬 瀬戸内・山陰」（H30 4～9月）
- ⑤JRグループ「山陰デスティネーションキャンペーン」（H30 7～9月）
- ⑥萩・石見空港便の2便化継続（H30・H31）
- ⑦FDA 静岡～出雲（H30 3.25～）、仙台～出雲（H30 4.20～）就航
- ⑧国宝松江城マラソン2018（H30 12.2）
- ⑨浜田開府400年（H31）
- ⑩ホーランエンヤ（H31 5.18～26）

■鳥根県や広域観光推進組織との役割分担と連携のもと、専任職員を配置している強み（「専門性」・「継続性」）を最大限に活かして活動する。

■施策の推進にあたっては、ターゲット及び数値目標を明確に設定し、結果の検証を行うPDCAを進めていく。

※（ ）内は平成29年度予算額

1 県外誘客プロモーション事業

県外から観光客を誘致するため、着地の観光情報と営業・宣伝ツールにより旅行会社へ営業活動を行って旅行商品造成・販売を促進する。また、テレビ・雑誌等のマスメディアやWEBサイトへの観光情報掲載を促進するとともに、映画やテレビドラマ等のロケ支援と誘致を行う。併せて、島根県観光キャラクター「しまねっこ」や「しまね観光大使」を活用してイベント等でPR活動を行う。

(1) 営業・宣伝活動事業 2,500千円 (3,000千円)

県外の旅行会社等への営業活動や宣伝イベントへの参加、各種会議への出席を行って誘客を促進する。

- ・ 県外の旅行会社へ旅行商品造成、大型団体誘致に向けての営業活動
- ・ 県外の旅行会社店頭での宣伝、営業キャラバンの実施
- ・ 県外イベントへの参加（ツーリズムEXPO、島根ふるさとフェア等）
- ・ 各種会議への参加（DW、県主催観光情報説明会等）

(2) ロケ地ツーリズム等推進事業 3,072千円新規 (0千円)

県補助 10/10

テレビ・雑誌・WEBなどのマスメディアへの取材協力を行って、島根の観光情報の発信を促進する。

加えて、テレビドラマや映画などのロケ（撮影）の円滑な受入れのため、全県の窓口となって県内のFC（フィルムコミッション）や市町村と連携しながらロケ支援を行う。併せて、県内のロケ地情報の収集・発信を行ってロケ誘致に取り組むとともに、ロケ地を活用した誘客促進を行う。

- ・ 各種マスメディアへの取材協力と観光情報掲載促進営業
- ・ 県、及び県内のFCや市町村と連携したロケ支援体制の確立
- ・ ロケーションガイドブック等の作成
- ・ ロケ地を活用した誘客促進（ロケ地マップ等を作成）

マスメディア掲載目標	件数	広告効果（NHKとWEBを除く）
平成30年度	26件	23,400千円
平成31年度	31件	27,900千円
平成32年度	37件	33,300千円

※ロケ誘致の目標は、ロケ支援体制の構築に併せて別途検討を行う

(3) 旅行会社商品造成支援事業 14,700千円 (16,700千円)

県補助 10/10

旅行会社の旅行商品造成経費に対する支援を行い、旅行商品の造成と誘客を促進するとともに、北海道、東北などの新しい市場の開拓を行う。また、利用が増加しつつあるレンタカーを活用した誘客促進を行う。

- ・ 個人型旅行商品のパンフレット等造成経費の一部を助成（補助率1/2）
- ・ 北海道や東北などターゲットを絞ったエリアにおける団体バス助成
- ・ 米子空港～隠岐へのアクセス向上のため、空港から境港、七類港へのタクシー代を助成
- ・ 名古屋、及び新規に就航する仙台、静岡からの出雲空港路線とレンタカーを組み合わせたプロモーション

単独パンフレット商品の造成目標		
【出雲地区商品】	商品数	送客人数
平成30年度	30個	18,900人
平成31年度	32個	19,500人
平成32年度	32個	19,500人
【隠岐地区商品】		
平成30年度	4個	1,500人
平成31年度	5個	1,800人
平成32年度	6個	2,100人

(4) 観光情報説明会開催事業 3,000千円 (2,000千円)

県補助 10/10

県外の旅行会社を対象として、旅行商品素材や観光情報についての説明会・意見交換会を開催する。なお、県との役割分担を踏まえ、観光連盟は旅行商品向けの企画についての説明・意見交換を行うなど、より実務的な説明会を主として実施する。

- ・ 主要都市で旅行会社を対象とした観光情報説明会、意見交換会、商談会等を開催（東京、名古屋、大阪、広島等）

(5) 情報発信ツール作成事業 11,000千円 (11,661千円)

県補助 6,000千円

旅行会社への営業・情報発信ツールとなる素材集や観光宣伝ツールとしてのリーフレット、ポスター等を作製する。また、島根県観光キャラクター「しまねっこ」を活

用したPRを行う。

- ・旅行会社向け観光素材集「旅の縁」の作成
 - ・旅行商品で活用する誘客ツールの作成
 - ・島根県観光キャラクター「しまねっこ」の商標管理及び利用促進を通じた認知度アップ
 - ・公式サイト「しまねっこの部屋」の管理運営やPRツールの作成
 - ・各種宣伝リーフレット等を作成して情報発信を実施

(6) 誘客ネットワーク支援事業 1,000千円 (1,500千円)

組織的かつ継続的に県外への誘客活動を行う民間事業者組織等の営業・情報発信力を最大限に活かすため、現場に入って支援・連携を強化する。

- ・民間事業者組織による受地づくりや情報発信の支援

(7) 観光大使活用事業 1,900千円 (700千円)

しまね観光大使を観光イベントやマスコミ訪問等に派遣し、島根のPRを図る。

- ・観光大使の選考、任用
- ・観光大使の派遣

(8) 萩・石見空港を活用した誘客促進事業 49,650千円

(37,700千円) 県補助 10/10

萩・石見空港の東京路線2便化継続に伴い、受地整備を行いながら更なる利用促進を図る。特に個人型の観光客の誘客と受注型企画旅行団体による利用促進を図る。

- ・リアルエージェント、ネットエージェント等による個人観光客の誘客促進
- ・「石見の神楽めし」、山口県と連携した「萩・石見ぶらり手形」の活用
- ・割引料金のレンタカー付き旅行商品造成
- ・山口県と連携した個人型旅行商品の造成・販売促進
- ・大手旅行会社等による受注型企画旅行団体の利用促進

平成30年度	羽田空港～萩・石見空港路線	販売目標
・東京地区販売	個人旅行、DP、WEB	8,720席
・東京地区販売	受注型企画旅行団体	2,250席

2 新市場開拓推進事業

教育旅行やMICE、女性旅マーケットなど、本県にとって今後の誘客が期待できる分野についての取組を継続して実施する。

(1) MICE誘致事業 4,500千円 (4,500千円) 県補助 10/10

企業の報奨旅行や招待旅行、研修旅行、周年式典や会議を伴う旅行の他、島根のまちづくりの取り組みなど先進地視察の誘致を促進する。

- ・ 旅行会社の法人営業部門への営業展開
- ・ 福利厚生代行企業と連携して研修旅行等を誘致
- ・ ユニークベニューでのパーティープランや企業向け研修プラン、行政視察候補地等のPR
- ・ MICE団体「おもてなし」キャンペーンのPR及び実施
- ・ 島根県MICE等団体旅行企画&素材集の改訂

	MICE 団体「おもてなし」キャンペーン適用団体 誘致目標	
	件数	宿泊人数
平成30年度	17件	1,530人泊
平成31年度	20件	1,800人泊
平成32年度	24件	2,160人泊

(2) 教育旅行等誘致事業7,350千円 (7,500千円) 県補助 10/10

事前学習ワークシートや旅行会社に対する助成制度をPRし、中学・高校を中心とした教育旅行の誘致を促進する。特に、平和学習や世界遺産で多くの修学旅行生を集めている広島と連携し、誘致を図る。

- ・ 学校関係者や旅行会社を対象とした教育旅行素材説明会の開催（東京、名古屋）
- ・ 学校関係者や旅行会社担当者を招致し、視察研修を実施
- ・ 島根県教育旅行素材集の改訂
- ・ 島根県修学旅行助成制度の周知、適用

	島根県修学旅行助成制度の適用団体 誘致目標	
	学校数	宿泊人数
平成30年度	22校	4,620人泊
平成31年度	25校	5,250人泊
平成32年度	28校	5,880人泊

(3) 女性旅マーケット開拓整備事業 1,500千円 (2,000千円)

観光マーケットをリードする「女性」のニーズを把握し、女性の視点での魅力づくりと情報発信を進める。特に、(株)ポーラが実施する「美肌県グランプリ」で島根県が2012年から2015年まで4年連続日本一、2016年と2017年も上位に選ばれたことを活かして、「しまね=美肌」のイメージを定着させる取り組みを進め、アラフォー世代を中心とした女性観光客の誘致促進を図る。

- ・しまね観光ナビ『美肌特集ページ「私だけの美肌旅」』の情報更新と旅プランの活用
- ・美肌県PRリーフレットの改訂
- ・県内女子会との連携による「しまね欲張り図鑑」の運営
- ・美肌講座の開催

3 受地整備推進事業

地域の資源を活かした魅力的な受地づくりを行うとともに、着地型観光を推進する。

(1) ガイドツーリズム促進事業 150千円 (200千円)

島根県内で観光ガイド活動を行っている団体・個人の情報発信を行う。また、NPO法人出雲神話語り部の会に所属するガイドを旅行会社等の要請に応じて紹介する。

- ・観光ガイドを行っている団体・個人の活動概要等について、しまね観光ナビで紹介
- ・「NPO法人出雲神話語り部の会」のガイドを、旅行会社主催のツアーで紹介

(2) 食を活用した観光促進事業 2,000千円 (2,500千円)

島根の食資源を活かした食の魅力づくりと情報発信、誘客活動を行う。また、付加価値の高いメニュー開発等に取り組む。

- ・「石見の神楽めし」、「ご島地グルメ」の開発・PR支援
- ・食材、メニュー写真の保存・提供

(3) 着地型旅行商品支援事業 1,500千円 (1,000千円)

地域の魅力を活かした着地型旅行商品の拡充に向け、現場に入って地元観光協会や観光事業者と連携し着地型旅行商品の造成と販売の支援を行う。

- ・ 島根の食や伝統工芸等を活かした体験型観光コースの掘り起こし
- ・ 県外の旅行会社やクリエイティブクラスの旅行者等の視点での着地メニューの磨き上げ
- ・ 「美肌県」など島根のブランドイメージを活用した着地型旅行商品の造成支援

4 人材育成事業

観光産業や観光振興を担う人材育成を目的とした研修を実施する。

(1) 研修事業 500 千円 (1, 000 千円)

観光関連産業や観光協会に従事する職員等を対象とした研修を実施する。

- ・ 観光協会の若手職員等との情報交換や研修会の実施

5 情報収集・提供事業

連盟事業の参考とするため、会員・観光関係事業者等との情報交換・意見交換を行う。

(1) 部会・ブロック会議開催事業 150 千円 (500 千円)

民間会員や市町村・観光協会等との意見交換会を開催する。

- ・ 市町村及び観光協会との意見・情報交換会
- ・ 民間事業者を交えたブロック毎の意見交換会

(2) 情報提供事業 500 千円 (500 千円)

会員等へ観光連盟の事業活動等についての情報提供を行う。また、観光マーケットの動向について分析し、会員等へ情報提供を行う。

- ・ 島根県観光連盟メールマガジン「島観連つうしん」を配信
- ・ 島根県内の特定エリアを対象としたマーケティング調査

6 県受託事業

「しまね観光ナビ」運営事業 7, 334 千円 (6, 716 千円)

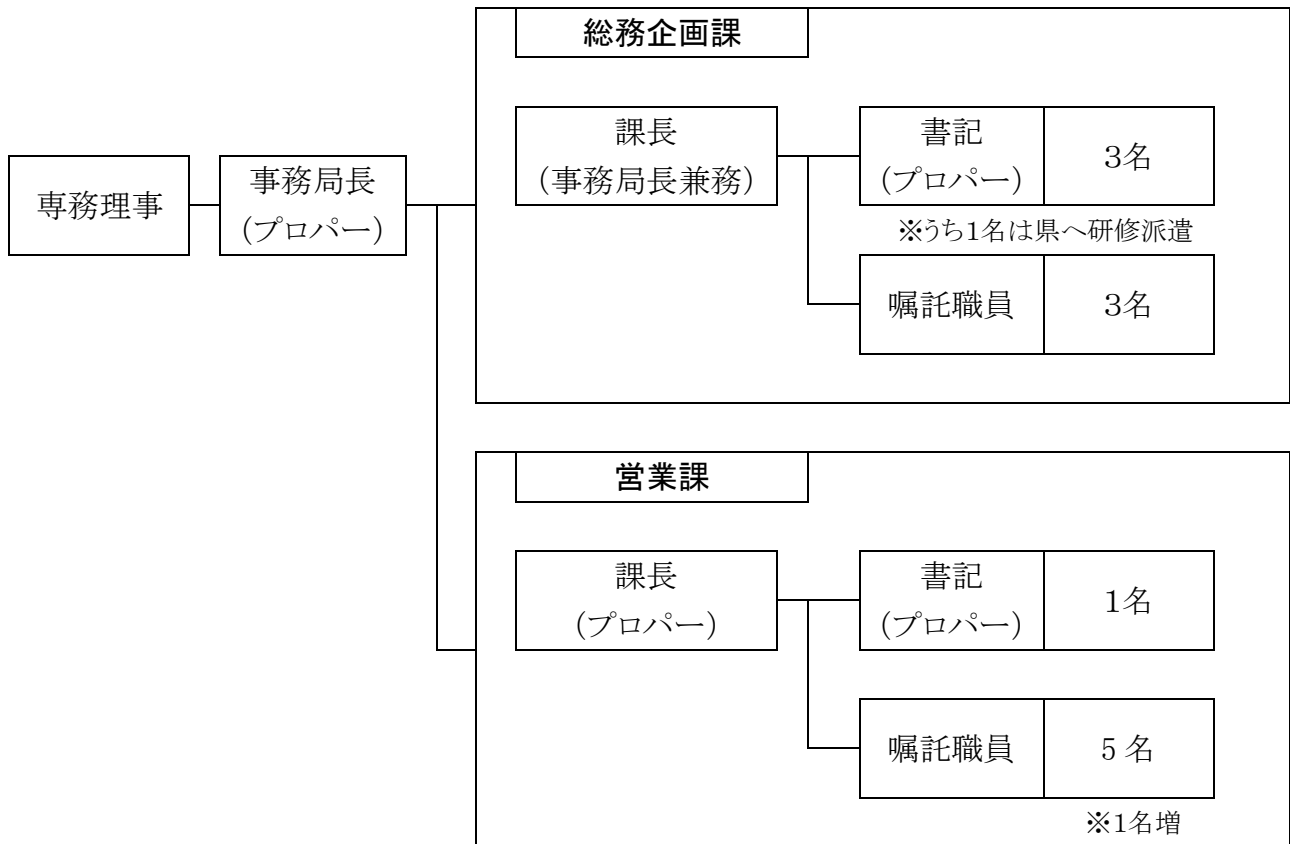
島根県観光情報ホームページ「しまね観光ナビ」の管理運営業務を行う。

- ・特集ページ制作、キャンペーン・イベント情報などの発信
- ・見やすく、よりタイムリーに情報発信をしていくためのシステム改修

7 その他

(1) 事務局体制

近い将来にインバウンド事業を観光連盟で実施することを視野に入れ、正規職員1名を引き続き島根県観光振興課国際観光グループへ出向（研修派遣）させる。



(2) 自主財源の確保

自主財源の増加を図るため、以下の取り組みを実施する。

- ・観光振興に資するための寄付型自動販売機の設置を進め、寄付金収入の増加をめざす。
- ・キャラクターイベント等に出展した際に、しまねっこグッズの販売等を付随的に行う。
- ・新規会員の勧誘に努める。